

FFG証券の 積立投信とは

「積立投資信託」とは、お客さまの指定した投資信託を毎月一定日に一定金額ずつ自動的に購入する契約です。



〈サービス概要〉

お申込み金額	<ul style="list-style-type: none"> ● 1銘柄につき、1,000円以上1,000円単位 ● ボーナス月など、年2回まで増額が可能 						
お買付方法	証券総合口座(預り金およびMRF)からの自動買付						
発注日	<p>ご希望の発注日をご選択ください。</p> <table border="1"> <tr> <th>発注日</th> <td>17日</td> <td>17日が休日の場合は翌営業日に発注となります。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>月末日</td> <td>月末日が休日の場合は最終営業日に発注となります。</td> </tr> </table> <p>※発注日の2営業日前に買付代金が必要となります。そのため、事前の代金不足により買付できない場合があります。</p>	発注日	17日	17日が休日の場合は翌営業日に発注となります。		月末日	月末日が休日の場合は最終営業日に発注となります。
発注日	17日	17日が休日の場合は翌営業日に発注となります。					
	月末日	月末日が休日の場合は最終営業日に発注となります。					
お申し込み	お申込書の提出が必要となります。お取引店またはお客様サポートセンターまでお問い合わせください。						
ご売却	売却をご希望の際は、いつでも売却することができます。全部売却、一部売却とも可能です。						
対象商品	当社指定の投資信託 ※対象銘柄につきましては、お取引店またはお客様サポートセンターまでお問い合わせください。						
手数料	買付け時に各ファンドに設定されている手数料(税込)がかかり、お買付代金の中から差し引かせていただきます。手数料の詳細については、各ファンドの目論見書および目論見書補完書面をご覧ください。						

ご投資にあたっての留意点

金融商品等にご投資いただく際には、各商品に所定の手数料(株式取引の場合は約定代金に対して最大1.242%(消費税込)、ただし最低2,700円(消費税込)の委託手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等)をご負担いただく場合があります。金融商品には株式相場、金利水準の変動や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。各金融商品毎に手数料およびリスクは異なりますので、金融商品等の取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みください。

〈投資信託〉

- 投資信託の場合は、商品ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費が直接または間接的に必要になります。
- 各対象投資信託には、金利・為替・株式相場等の変動や、有価証券の発行者の業務または財産の状況の変化等により価格が変動し、元本の損失が生じる恐れがあるものもあります。商品ごとに手数料等およびリスクが異なります。これらのリスクは、すべてお客さまに帰属します。
- 各商品の取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書および目論見書補完書面またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

FFG証券の

積

立



キャラクター
「こめちゃん」

投

資

信

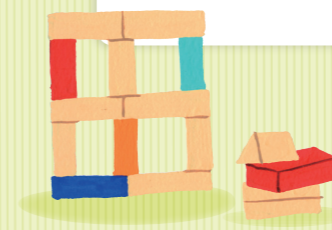
託

こんな方にオススメ!

1 毎月少額でコツコツ
資産運用を行っていきたい方

2 運用をはじめてみたいけど
投資のタイミングを判断するのが
難しいと考えている方

FFG証券の
積立投資信託なら
毎月1,000円から
OK!



くわしくは中面をご覧ください。>

1 無理のない金額で、まずはスタート!

「将来のために今からコツコツ…」わかってはいるけど貯められない!

手元にあると、ついつい使っちゃう…。
なかなか行動にうつせない…。

「先取りの法則」が重要!

たとえば、お給料が手取り20万円の人の場合

毎月2万円を 貯金するのは…  無理~!	毎月18万円で 生活するのは…  できるかも?
---	--

この「先取りの法則」を活用すれば、スタートできそうな気がしませんか?

そんな時におススメしたい**「先取りの法則」**。
毎月コツコツ貯蓄や投資に
まわしてみましょう。

あなたの一步をサポートする3つのポイント

1,000円から 始められる!

株式などに投資するには、通常ある程度まとまったお金を用意しなくてはなりません。
FFG証券の積立投信は毎月1,000円から購入できます。

手軽に 分散投資できる

株式や債券など、手軽にさまざまな資産に分散投資ができます。
ひとつの会社の株式に投資するのに比べて、価格の変動を小さく抑えることができます。

専門家により 運用されます

株式や債券など、専門知識を個人で習得するのはなかなか難しいものです。
投資信託は経済・金融などに関する知識を身につけた専門家が投資家に代わって運用します。

投資信託には値動きがありますが、**長期投資することで値動きを抑えながら効果的に資産を増やす**ことが期待できます。自分にできる現実的なプランを作り、まずは一步を踏み出しましょう。



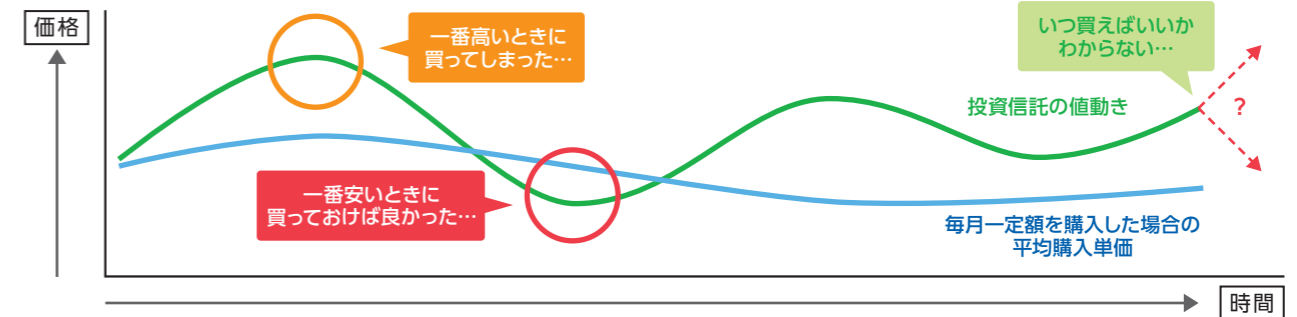
2 時間を分けてリスクを減らす!

投資信託は、「いつ買えばいいか」分からない!

値動きのあるものだから、なかなか買うタイミングがつかめない。

そんな人におススメしたい**「積立投資信託」**。

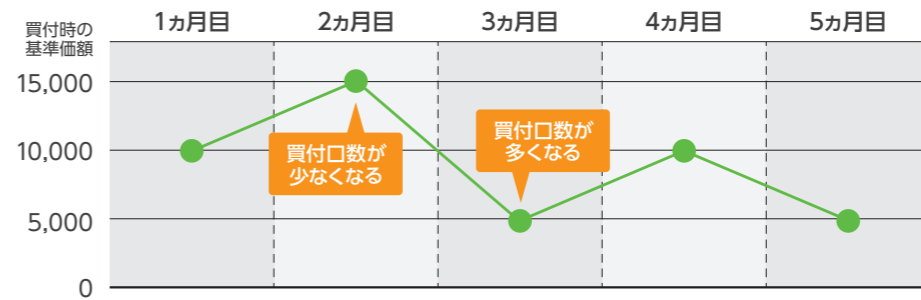
タイミングを分けて少しずつ投資するので、「買い時」に悩むこともありません。



ドル・コスト平均法

一定金額ずつ定期的に購入すると、**価格が高いときには少なく、安いときには多く**買うことになり、**平均購入価格を低く抑える**ことが期待できます。このような投資方法は**「ドル・コスト平均法」**とよばれ、積立投資信託もこの効果が期待できます。

計算例



毎月3万円ずつ積み立てた場合 [積立投資]

	1ヵ月目	2ヵ月目	3ヵ月目	4ヵ月目	5ヵ月目	合計	1万口当たりの 平均購入価額
購入金額 ▶	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	150,000円	7,500円
購入口数 ▶	30,000口	20,000口	60,000口	30,000口	60,000口	200,000口	

一括15万円で購入した場合 [一括購入]

購入金額 ▶	150,000円	—	—	—	—	150,000円	10,000円
購入口数 ▶	150,000口	—	—	—	—	150,000口	

一度に15万円投資した場合と比較して、50,000口多く買え、平均購入価額が2,500円安くなりました。

※基準価額の推移はあくまで例です。手数料は考慮されておりません。

※投資信託の基準価額の動向によっては、一括購入した場合と比較して平均購入価額が高くなる場合があります。